

自己マネジメント研修 レポート

7月7日(木)栃木県学校生協会館において、採用1年目の方を対象とした「ステージⅠ基本的力量形成期研修～自己マネジメント～」を開催しました。講師には、日光市立東中学校 倉澤由佳 事務長と芳賀町立芳賀北小学校 檜山真美 主任を迎えました。

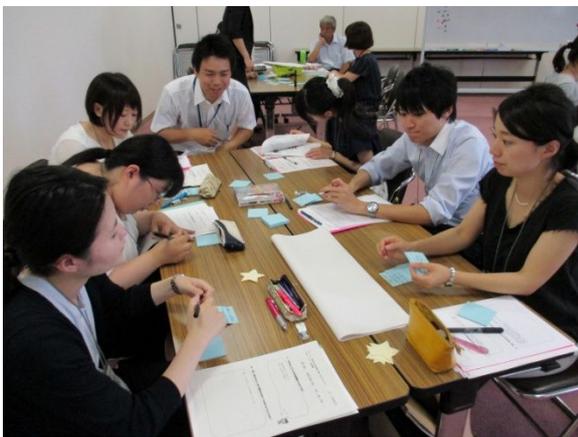
はじめに、栃事研活動の概要と「研修の体系化」の取組についての説明があり、参加者は子ども達のために何ができるのか、先輩達が試行錯誤しながら前進していくその歩みに続く自分たちの姿を想像するように、参加者は手元の資料にメモを取りながら聞いていました。

講義の始まりは、グループ内での自己紹介（1人2分間）から。その内容は、目指す事務職員像、好きな給食メニュー、いま頑張っていること・・・等々。「2分間って長い」と話題を絞り出そうとする人がいる一方で、「えっ、そんなにオーバー？」と流暢に話すぎたことに驚く参加者もいました。また、紹介を聞いた他の参加者は、「いいね！」と思った所を星型カードに書き出しプレゼント。お互いの話の聞き合い褒め合いは、参加者の緊張をほぐしてくれたようでした。



「自己マネジメントとは、自律的・主体的に行動し、他者と協働して、組織貢献し続けること」。

講義ではこの言葉が意味することについて、順を追って説明されました。自分の立場、自分が置かれた環境（職場）を知ることを通して、自分の貢献対象を知り、また、自分の強みを知ることを通して、自分は何ができるのかを知る。そして、仕事をする上で意識すべき4つのポイント「仕事の段取りの管理（タスクマネジメント）」「時間の管理（タイムマネジメント）」「最適な協働関係づくり（コラボレーションマネジメント）」「自らの心身の調整（コンディショニングマネジメント）」と、実際に行動するために必要なこと（決意表明や組織連携など）に関して具体例を通しての説明がありました。



様々な立場の人間が協働して、子どもの育ちを支えていくことの楽しさと難しさ、課題も悩みも一人で抱えず共有することの大切さについて、講師自身の経験を交えた話に、参加者は真剣に耳を傾けていました。

講義の後は、その内容を確認する形で班別演習。事前課題を基にして、現在抱えている悩みや課題を班員同士で発表し合いました。どの発表にも、「うん、うん」「そうだね、そうだね」と相槌をうつ参加者の顔には、自分だけじゃないんだという安堵感が表れていました。

次に、たくさん挙がった悩みや課題を、似たもの同士にまとめてカテゴリ分けをしました。課題解決のために必要な思考の質を高める練習ができていました。

また、各班に1人ずつ入ってもらった、採用2年目の先輩事務職員にも知恵を借りながら、課題解決の方策を考えました。さらに、2年目の先輩には、1年目に何を悩み、それに対してどう考えて行動したのかについて、話をしてもらいました。参加者は、現在の自分と重ねたり、今後に活かせるようにメモを取ったりしていました。

2年目の先輩にとって、自己の振り返りと発表は、1年間の反省に止まらず、自分自身のステップアップにも繋がる機会になったと思います。



「私の目指す事務職員は、最高のサービス業に従事するものとして最高のサービスを提供することです」と、物腰は柔らかくも揺るぎない信念の表明から始まった、笠原さんからのちょっと先輩のいい話。

採用当時の不安に対して「がむしゃらに頼る・聞く」しかなかった自分、年数を重ねる毎に「他校に探りを入れる」「先生方に何気ない会話から探りを入れる」など業務の改善に向けた試行錯誤、そして今後も自分の強みを生かして目指す事務職員像に近づいていきたいと話を締めくくりました。そんな話を聞きながら、必死に手を動かす参加者の様子からは、共感とともに将来の自分を見つめる大きな一助になっていることが伺えました。

最後の演習では、先輩からの話も頭に置いて、「自分の強み」「自分の周りにある強み」について考えました。さらに「〇〇するために」「△△になるために」と題して、実践目標を立てました。この演習で参加者は、タイムマネジメント（いつまでに）や強みを生かすこと（どうやって）等、講義で学んだことを活かしていました。また、実践目標を班の中で発表し合った後、そこからひとつ選んで、よりよい解決策を班全体で検討しました。まとめとして、班ごとに検討したものを全体発表しました。

提示された研修のサブテーマは「楽しく、笑顔で仕事を進めるために」でした。研修会で学んだことはどれも、一人で悩むだけでなく「楽しく、笑顔」で仕事をしていける糧になったはずです。そして終わりに講師は、目指す事務職員像に近づくためには、小さな目標を立て達成していく積み重ねが不可欠であり、このプロセスを通して事務職員のキャリアは作られると研修を結びました。

参加者は、まず今回立てた実践目標をスタートにして、研修で学んだことを自分の学校で活かして行って欲しいと思います。5か月後のみなさんの成長とその取組に期待しています。

